

会議録（概要）

会議の名称	令和元年度 第2回佐渡市博物館協議会
開催日時	令和2年2月6日（金） 13時30分開会 15時00分閉会
場所	佐渡市教育委員会 2階 第3会議室
議題	1 開会 2 報告事項 3 議事 4 その他 5 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	佐渡博物館協議会 委 員 副会長 池田 雄彦（学識経験者） 委 員 小見 秀男（学識経験者） 委 員 加藤 恭子（学識経験者） 委 員 石川 喜美子（学識経験者） 委 員 萩野 正作（学識経験者） 委 員 大屋 柳平（学校教育関係者） 委 員 相田 満久（学識経験者） 事務局（社会教育課） 教育長 渡邊 尚人 課 長 粕谷 直毅 ジオパーク推進室長 齋藤 辰也 佐渡学センター長 濱崎 賢一 係 長 村上 賢如 主 任 中川 優子 主 任 石渕 裕作 主 事 五十嵐 麻湖 主 事 井野端 圭介 指導員 高藤 一郎平
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎センター長	1 開会
池田副会長	2 あいさつ（臼杵会長欠席に伴う）
濱崎センター長	佐渡市博物館条例施行規則第17条2項より、委員の半数が出席しているため、今回の協議会を開催。
濱崎センター長 井野端主事	3 報告事項 資料確認、資料1について説明
池田副会長	質問なのですが、博物館を利用した学校は何校ほどでしょうか。
五十嵐主事	具体的数値は持って来ていませんが、小学3年生の来館がピークになっていて、今後徐々に増えてくる見込みです。
小見委員	レファレンス業務なのですが、どういう内容が多いのですか。
井野端主事	歴史関係のお問い合わせが多いです。直近ですと、日蓮が鎌倉から佐渡まで何日で来たか、北前船の寄港地について、などです。
小見委員	県外の方からのお問い合わせが多いですか。
井野端主事	県外の方も、市内の方もいます。
池田副会長	今年の特別展の時には内覧展をやっていましたが、他の企画展の内覧展等は考えなかったのでしょうか。先日、新潟県立歴史博物館へ行ったら、展示が変わる度に内覧会をやって報道関係者集めていて、宣伝関係に厚いように思いましたが、いかがですか。
五十嵐主事	夏に行う一番大きな特別展、今年だと「竹芸 一本間一秋・秀昭二人展」になりますが、それは内覧会や報道説明会を行って取材してもらうようにしています。その他の時期の企画展については検討しておりませんでした。来年以降の企画展は検討したいと思います。
池田副会長	もう一つお願いしたいことがあります。今年は、今までになく企画展の回数が増えたこと、先まで企画を立ててあるのは良いことだと思いますが、3月中旬から6月中旬まで予定している「宮本常一写真～」は、どちらかという島内関係者の方が面白いのかなと思います。観光の方を考えると、やはり、美術工芸展や佐渡の歴史について企画展を行った方が効果的なんじゃないかと思うのですけれど、いかがでしょうか。

五十嵐主事	ご意見ありがとうございます。佐渡博物館 1 階の金銀山展示を行っている展示室を、他の展示にも使えるよう計画しています。宮本常一展を開催している間は、別の展示室で美術工芸展を見ていただけるよう工夫いたします。
濱崎センター長	報道関係機関への内覧会は行っていませんが、イベントや展示会有一些の場合、市のプレスリリースを通して報道関係（記者クラブ）への周知はしております。
相田委員	佐渡植物園のことでお聞きしたいと思います。昨年行ってみたのですが、植物が無くなっているような場所に植物名の札が立っているような状況もありました。あと、実際に何人が来園されたかカウント出来ているのかとも思った所なのですが、そのあたり教えていただければと思います。
五十嵐主事	園内については、主に佐渡植物園友の会に管理委託をしています。看板の老朽化が進んでいるという話も友の会から出ていますので、今後変えていく事もあるかと思っています。植物等の整理についても同じです。
濱崎センター長	来園者数につきましては、公園のような施設ですし、管理人の方がいる時間帯での概算的なカウントになります。
池田副会長	今も菖蒲まつりをやっていますか？
五十嵐主事	「まつり」というイベントはやっていないですが、菖蒲の展示は続けています。
池田副会長	まつりで賑わっていた頃は 2 千人ぐらい来場されましたね。私も 2 回ばかり行ったことがあります。相田さんの言われるように、札はあるけれど植物は無い、という場所がありました。それと、温室の中をもっと綺麗にするなど、佐渡市管理という点では良くして頂きたいなと思います。
五十嵐主事	(2) 令和 2 年度 佐渡学センター事業計画 (案) について (資料 2 について説明)
大屋委員	二宮小学校の大屋と申します。1 回目は学校行事と重なり出席出来ませんでした。1 回目の議事録を拝見しましたが、様々な要望事項や質問が出ていました。それを踏まえての来年度事業だと思うのですが、どの辺りがそれを織り込んだ事業になるのか教えていただけるとありがたいです。
濱崎センター長	佐渡博物館の展示については、一階と二階の展示室をうまく利用しながら展示替えをしていきたいと考えています。例えば、毎年、市ジオパークと連携してスタンプラリー展を行っております。例年だと博物館入口でスタンプを押して帰るような企画だったのですが、来年度は展示室を使い、沢山の方が来れるようなイ

	<p>ベントを含む形で考えたいと思っています。予算の制限があるため、ご意見いただいたもの全ては実施できませんが、学校の校外学習も積極的に受け入れたいと思っています。</p>
大屋委員	<p>ありがとうございます。私、小学校の校長をやっていますが、小学生が親に「一緒に行こう」と言いたくなるような子ども向けの特別展がないなあと感じました。出てくるのはみな大人の方がターゲットで、そうすると学校の授業などで見学に来るというスタイルでしか使われず、子どもによる博物館の利用推進という面では弱いのかなと思いました。</p> <p>例えば、七浦小学校にいる時に、佐渡民謡の祝祭に七浦甚句の団体として出場させて頂き、その時は保護者や地域の方が大勢見に来て下さいました。子どもたちが来たくなるとか、保護者や地域の方を呼べるような企画があるといいですね。また、高千中では文弥人形をやっており、相川のきらりうむで1度、公演をお願いした事もありました。やはり、小学生、中学生がそういった施設を使うと保護者の方や地域の方も併せて来て下さるのかな。</p> <p>他にも、佐和田中学校にある理科センターでは、アミューズメント佐渡でおもちコンテストなどを行っています。あるいは標本同定会など親を巻き込んだ学習の場など、博物館が発信地として人が集まってくる場所になるといいのかなという気がします。相田先生もいらっしゃるので、ご意見をお聞かせいただければと思うのですが。</p>
相田委員	<p>大屋先生がおっしゃったように、正直言うと企画展が大人向けなのは確かだと思います。これらの企画を周知しても、子供たちが行きたいとは言わない内容のかな、とってしまいました。連携するのは中々難しいですが、教育の中では博物館が重要なポジションにもなるわけで、理科センターで企画するような内容を博物館で行えると、より一層深まりがあるんじゃないかと思います。ぜひ検討して頂くといいなというのは、大屋校長の言われた通りだと思います。</p>
濱崎センター長	<p>ありがとうございます。佐渡博物館、展示室は沢山ありますが、人が集まってイベント的なことを行うとなると、スペース的に難しいかなと考えています。一階展示室がある程度軌道に乗りまして、体験できるスペースが確保できれば、学校と連携しながら進められるといいかなあと思っています。今後の検討事項とさせていただきたいと思います。</p>
池田副会長	<p>佐渡博物館が財団法人の時には、時たまなのですが、学校に関連した企画がありました。我々（市）が引き継いだ後も、夏休みに体験交流講座などを行い、市内の学校に呼びかけていました。しかし、それもいつの間にか消えており、そのような講座を行うのが厳しいなら、博物館の人たちの意識が「少しでも人を呼びたい」「来てもらいたい」となって企画展を行うかどうかだと思います。私が博物館にいた頃、非常にカッとしたことがあるんですけど、「人が来ない方が良い」と</p>

	<p>いうことをぬけぬけと話すような職員もいました。我々年寄り連中が危惧して色々な提案をするんだけど、予算がないという一点張りで、逃げてしまうという現状が過去にあったんです。でも、出来る範囲で前向きに、地域の子どもを育てる大事な場ですので是非お願いします。</p> <p>関連して、もう一つ。前回、学校教育基本構想の中に「博物館」の文字が一つも入ってないため、会議で強く訴えました。最終的には「博物館等」が加わってほっと一息しているのですが、やっぱり博物館が核になって欲しいし、ならなくてはいけないです。図書館には負けちゃいけないと思っております。ちょっと脱線しましたけれど……。</p>
萩野委員	<p>佐渡博物館、私は「狭いなあ」と思います。子どももあり、大人もありというところまで展示を行うとなると相当な広さがいりますので、担当されている方は、あのスペースの中でこういう企画を立てているというのは、非常に前向きな発想でやってくれているなあと感じます。</p> <p>ただ、やはり大屋先生のおっしゃるように、子ども達と親が動かないと、人が集まらない、次の教育にも繋がらないのが現実です。ですので、もうちょっと広いスペースがあるなりしないと、子どもと大人が混在しながら見ていただく、体験する企画は難しいなと思います。両津の博物館は使えないのですか。まったく収蔵庫みたいなものなんですか。</p>
五十嵐主事	<p>小学校の学級単位でいらっしゃっていることはありますが、休館中なので団体予約が入らない限りお客さんは入りません。</p>
萩野委員	<p>難しいね。</p>
池田副会長	<p>両津郷土博物館の講堂は広めですよ。新潟大学名誉教授の池田先生が学芸員をされていた時は、地域の子どもたちを集めて標本教室などを行ってしまして、ちょうど良い広さでした。佐渡博には残念ながらそのようなスペースはないですが、物置はあるのもう少し工夫すれば……それでも狭いのですが、使えるところは使ってもらいたいですね。</p>
小見委員	<p>両津博物館は耐震に問題があると聞いてたのですが、子どもたちを入れていいんですか。以前は、両津郷土博物館は耐用年数が来てること、耐震の基準に合わないことから人を入れられないと言われて、そのように承知していました。</p>
渡邊教育長	<p>両津博物館に関しては、耐用年数は過ぎています。また、耐震工事をするときの該当から外れてしまいました。従って、この後人を入れてもいいのかという事になると、それは一つの問題です。ただ、既存の施設について、それが継続している場合には多目に見てもらえる部分はあると思います。なので、多くの方が入るように博物館という形で公開するのは難しいと思いますが、希望があればお見</p>

	せしますよという形は取れると思います。
小見委員	<p>分かりました。</p> <p>事業費だけでいいので、大体どれぐらいの予算でしょうか。春の写真展から通年の常設展示まで、どれぐらいの予算で行っているんですか。一本一本の予算では恐らくないと思うので、全体額となるかと思いますが、もし分かったらお願いします。</p>
濱崎センター長	<p>現時点では予算案のため具体的な言及はできませんが、それほどかかっていません。経費が掛かるとすると、パネルなどの消耗品、チラシなどを作る印刷製本などです。本年度だと、竹芸展については委託費にも経費が掛かりましたが、収蔵資料を展示するとなれば必要経費は少ないです。</p>
池田副会長	<p>ただ、展示を工夫するとか、新しいことをする時はある程度予算を付けないといけませんよね。依然、事務局に「こういう企画展をやるから予算を別途取ったらどうか」と言うことがありましたが、「どうせ出したって蹴られるんで、今あるのをいかに効果的に使うかそうするのが利口ですよ」なんて逃げられました。人集めにはどうしてもお金が必要ですし、歴史文化の島と言いながら、その辺、ちょっと意気込みが弱いと思うので、もう予算はとれませんよね。</p>
小見委員	<p>こちらの実情は分からないのですが、県立の万代島美術館もお金はありません。企画展の予算は本当にありません。例えば、1千万円かかる企画でも、予算化されているのは100万円程度です。残りの900万円は、同時主催となる報道機関、テレビ局、新聞社などから出て、売上も9割くらい持って行きます。なので、基本的な展覧会が出来ません。今も、今度始まる企画展の宣伝をずっとしていますよね。昔、シャガール展をやった時に、テレビ局が「展覧会をやるぞ」と言って宣伝してくれたのを思い出しました。ああいう形で、テレビ局がお金を出したけれど売上げも持って行って、施設もタダで借りられるし学芸員も使い放題使っているんだから、こんなにいい展覧会はないって考えるんですよ、</p> <p>それで考えたのですが、新潟日報の佐渡版を見ていると、随分細かな展覧会やイベントをやっていることが載っているのですが、報道機関と組んで事業をやることは不可能なんでしょうか。佐渡じゃなければ出来ないような展覧会なり事業なりを、テレビ局などで行うという発想はないのかなと思ひまして。苦勞するかしれませんが、年に一本ぐらいは何とかできないのかなと。本当に佐渡って催しものが多いじゃないですか。だから、それを特化した形でマスコミと共同できないかなって思います。</p>
粕谷課長	<p>先程、副会長さんのお話にもあったような、事務局サイドはお金がないと逃げている訳ではないです。私どもも必要な予算については要求しておりますが、財政当局は本当に余裕がないものですから、例えば「入館料を上げてでも収益を上</p>

	げなさい」という言及までされているところです。必要なものについては本当に必要な物として、何とか確保したいと考えていますけれど、昨今このような財政事情でございますので、マスコミ等とのタイアップなどを図れば、もしかすると他の所の改善すべき道があるのかもしれませんが、まだそこは手探りでどういった話に落ち着くか分かりませんが、それは一つの選択肢として取り仕切っていくべきだと思います。
池田副会長	益田孝、三井生命あたりか何かやらないかって声をかけたことがあった気がします。
萩野委員	益田孝さんは三井財閥から出ているものですから、そういう問いかけがあったという話は聞いております。万代島美術館みたいに大きな施設なら人を寄せるんでしょうけど……。
小見委員	受け入れる施設の規模制限はあるので、何か知恵がないのかなあと思う事がありまして……。
萩野委員	<p>佐渡の人間として意見を頂戴し、外から見ると面白いものがいっぱい眠っている中でタイアップなどをすると放送局が食いついてくるようなものもあるのでしょうか、ちょっと練ってみると、あるかも知れませんね。ただ、事業を行うにはお金ばかりでなく人的なサポートもいるわけで、なかなか難しいというのが、現状かなという風に思います。ただ、佐渡のお宝はまだ眠っているわけで、それを世に出していくような事を企画するといいのなと思います。</p> <p>私も佐渡を世界遺産にする会に入っているのですが、新潟や東京の方には、せっかく現場があるものですから、現場で楽しめる出前授業などを落とし込んだり、修学旅行に来た市外の学校に市内の学校の子も達がガイドをしたりという交流をされるといいな、とよく言われます。地元の会がそこまではまだやれていないのが現状ですが、ジオパークの相田先生がやっておられるような、現場を活かすような取組をしていかないと、と思います。やはり、上下でやろうとしても、誰が考えてもなかなか大変だろうなというのが私個人の意見です。</p>
小見委員	佐渡のトキマラソンは、随分とFMポートなどで宣伝してますよね。佐渡にはマラソンやトライアスロンの伝統がありますし、随分と盛り上がっているように聞こえるのですが、文化の方には全然、そのようなものは来てないなあというような気がします。トライアスロン、千人単位か、もっと人が来るんでしょう。それを何回も行っているのではノウハウがあるのでしょうか、運営は大変なのでしょうか、それとも楽々やっているのでしょうか。
粕谷課長	本当に、運営的には大変な業務です。現在、四大スポーツイベントがあるのですが、それらについては佐渡市スポーツ協会と連携しながらやっている状況です。

小見委員	<p>分かりました。あんなに人が集まって、すごいなと思いながら見ているのですが、同じことがなぜ文化で出来ないのかと思います。</p>
渡邊教育長	<p>FM ポートなどで流せるのは、大会と合わせてツアーを組み、観光で売っています。だから、博物館事業とツアーを組めれば出来るのかもしれませんが、ちょっと形態が違うと思います。</p>
萩野委員	<p>昨年、佐渡汽船専務と深野前世界遺産課長にずいぶんお願いし、2 回ほど金の道ツアーを組みました。1 回はどうかこうにか人が集まりバスが出ましたが、2 回目以降の申し込みはなかったです。やりかたがヘタなんでしょうけれど、文化というものへの食いつきはスポーツほどありません。観光とうまくマッチングしている場所には人が大勢行きますが、若い人はなかなか来ません。いざやってみたとき、思うほどなかなか乗って来ないな、子どもさんたちが乗って来ないなと思いました。</p> <p>ただ、成功事例もあります。その前の年、FM 新潟にお願いして毎回放映して頂いて、歩くツアーをやったら、60 人ぐらい集まったかな。しかし、それは西三川のおいしいイモがあったり、地域の人がぼたもちを作ってくれたりとか、相当な協力者があり、ようやくそれぐらいです。もうちょっと、遊びがあったり、人を引き付ける何かがあったりしないと、文化を前面に出しても人を集めるというのは難しいと思います。</p>
石川委員	<p>正直に申し上げますと、お客様は、お金を払ってまで教育されたくないと言うんです。観光で来られるお客様をガイドすると、「楽しみに来たのに、学校の先生が喋るみたいに言われたんじゃない……金払っているんだこっちは」と言われるんですよ。今、萩野さんがおっしゃったみたいに、タイアップと言っても、金の道を歩く人たちが歴史や文化を求めているかと言ったら、やっぱりそうじゃないんですよ。参加される方が見ている方向は、りんごを食べたり、花を見たり、などです。しかも、若い人にそのような傾向があるのかなと思ったら、案外、自分たち世代の声もそうなんです。いつの間にか皆そういう流れになってしまっています。</p> <p>ですから、博物館の来てほしい人のターゲットをどこにするのかで、展示方法は全く違うと思います。もし今の世代に合わせた展示方法にしたいとか、家族で来てほしいとなったら、例えば宮本常一展はここ数年毎年行われていますが、私はやっぱり「もういいかな」と思ってしまうんです。観光の方なら見るかもしれませんが、毎年これを市内の人に出していたら「また同じだね」「また無名異焼と竹とこれだよね」という感じに、最初に目に入った文字で思ってしまう気がします。佐渡金山で働いていた時、「昔はこうだったんだよ」というガイドをすると、それこそ若い人達から「昔のコトばかり言われても」と言われました。ああそうか、もうダメなのか、と感じてしまいました。取り組む分野について、こちらは厳格な分野、こちらはちょっと砕けた分野、などメリハリ付けて、夏休みの子どもたちをターゲットにしようと思ったら、少し頭の中を変えてしまわないと、</p>

	<p>新しい発信は出来ないのかなと思います。池田先生が北沢浮遊選鉱場の前で浮遊選鉱を説明する際、言葉のみで説明するより、ペットボトルを振って見せた時が、一番反応が良かったです。やっぱり、もう少し子どもの目線になった方が良いのかなと、思います。</p>
池田副会長	<p>もう一つ。定期観光バスは今、博物館に寄っているのでしょうか、財団法人佐渡博物館時代は、定期観光バスでの来客数が相当なウエイトを占めていましたし、佐渡市が受けた当初もきっちり寄っていたんですけど、最近の状況だと無くなるかもしれないというのは、噂だけなのでしょうか。</p>
濱崎センター長	<p>定期観光バスは来ております。新潟交通さんも色々なスポットを定期観光に入りたいんだと思います。冬の定期観光バスについてはジオガイドさんに常設展の解説をお願いしており、今の所、やめると言う話は聞いておりません。</p>
加藤委員	<p>先日、ジオパークガイド協会の総会に出ましたら「博物館でガイドをしている」と聞いたのですが、そのような要請をしているのですか。</p>
濱崎センター長	<p>定期観光は市観光振興課も含めて話をしているのですが、冬の間は定期観光のバス止をめたいという話がありました。観光課はぜひとも続けたい、続けるためには特別感のあるものを各施設で行ってほしいという事でしたので、博物館でも何かできないか考えた時、常設展にジオパーク的要素があることからジオガイドさんに展示解説をできたら、という事で共同しながら進めているところです。</p>
池田副会長	<p>定期観光に参加された方の噂が入って来たのですが、佐渡博物館の見学時間はわずかな時間（30分）しかないんですね。そうすると、ジオパークの解説ばかりで、他のものを十分見れなかったとおっしゃったそうです。他のところも全部説明してもらえばいいけど、ジオパーク部分ばかり一生懸命に説明してくれました。定期観光バスに行かれた方についての又聞きですけど、工夫して頂ければと思います。</p>
石川委員	<p>世界遺産ツアーなどで施設を案内するのですが、バスに乗った途端に怒られることがあります。「こんなところ来るんじゃない」と言われて、こちらは（申込されたから案内しているのに！）って思いますが、「どちらに行きたかったんですか？」と聞くと、「俺は人形のところに行きたかった。こんなところに来たかったんじゃない。」と、バスを降りてしまう人もいます。結局、ツアーは色々な人が参加しているので、見たいものもそれぞれ違うんです。ここに行って、こういう説明があります、という内容を分かっておらず、ツアーが動き始めてから「こんなところ嫌だ、降りる」と言われたりします。他にも、後で宗太夫坑に連れて行ったりもしました。</p> <p>どう対応したらいいか分からないけれど、お客様はお金を払っているの、面</p>

	<p>白い方がいいんですよね。ガイドとしては本当に困ることがいっぱいです。お客様は、100%同じ方向見てくれませんか。なので、はじめに「ここを説明しますが、他に興味のあるところがありましたら、どうぞ好きなところに行ってください」というように、ある程度誘導しないと、面倒見られないかなと思います。</p>
濱崎センター長	<p>その形も、今後、ジオガイドさんと協議しながら進めたいと思います。</p>
池田副会長	<p>来年度の事業で前向きに活かしていただきたいと思います。改善しながら、次年度は本計画に沿って進んでいただくという事で、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、議事に移りたいと思います。</p>
濱崎センター長	<p>3 議事</p> <p>(1) 令和元年度 佐渡市博物館協議会 博物館ビジョン専門部会(仮称)の設置について</p> <p>(資料3についての説明)</p>
池田副会長	<p>博物館ビジョン専門部会を設けることについて、並びに構成員の案も出ておりますし、これについて最初に、ご意見をいただきたいと思います。</p>
小見委員	<p>名簿に島崎さんのお名前があって、少しびっくりしました、確か88歳になられたかと存じていますが、お元気なのでしょうか。非常に豊饒としてお元気ですから、問題はないんですけど、びっくりしました。とてもいいと思います。</p>
渡邊教育長	<p>はい。島崎さんについては、佐渡に対する意欲がものすごく強い方なので、推薦をいただきました。</p>
濱崎センター長	<p>名簿については事務局案ということで、全員が了解している状況ではございません。今回、専門部会の設立が認定されれば、声かけをしながら進めたいので、ご了解願いたいと思います。島崎さんには、まだ了解を得ていません。</p>
池田副会長	<p>博物館ビジョン専門部会を開く事に関して意義はございますか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、専門部会を設置するということをお願いします。構成員については未定とのことですが、追加その他も可能という事でしょうか。</p>
濱崎センター長	<p>そうです。今後の流れとしては、2月中に専門部会の1回目を行いたいと思います。そこでどれ程進むか分かりませんが、ある程度のビジョン素案ができた時点で、協議会において進行状況を示したいと思っています。同時に、文化庁補助事業についても進めたいと考えております。補助事業を進めるためには実行委員</p>

	<p>会を立ち上げなければならないため、行く行くは専門部会のメンバーを補助事業実行委員会のメンバーにしたいと思っています。それも含めてご了解いただければと思います。</p>
池田副会長	<p>実行委員会の件について、意義はございますか。 (意義なし) 特に無いようですので、その方向で進めて下さい。関連して、文化庁の補助ですが、施設の見直しにかかる補助金などは国の方では考えていないでしょうか。</p>
濱崎センター長	<p>重要視されている国の文化財などに関する施設整備にはつきますが、通常の収蔵庫などに関しては問い合わせ確認が必要です。この補助金は、展示にはつくのですが、収蔵に充てられる性質ではないので、補助事業を使って展示改修はしたいと思っています。</p>
池田副会長	<p>収蔵庫もそうですが、本体そのものも狭いです。歴史・文化・自然の島でありながら、あまりにも浅く広く展示していますので、今の展示は固定し、企画展ぐらいは別のスペースがあるといいですね。この補助事業の中でスペース的な予算も立つのであれば、その辺も加えてもらえるとありがたいと思います。</p>
濱崎センター長	<p>佐渡博の増築や改修については何も考えていないので、それも検討しながら案を詰められればと思います。あの場所でよいか、というのもありますが。</p>
池田副会長	<p>昔、竹林のところを平らにするなどの計画は出たことがあります。ただ、その場合には、土地を全部買い取らなければいけなかった。だから中断していますけどね。建物そのものも、外部から立派な美術品が展示出来る、企画展が出来るぐらいの博物館を建てられれば、世界遺産のある土地の博物館としていいなあと思います。</p>
粕谷課長	<p>これから博物館ビジョンを作っていく中で、皆様に相談しながら、例えば収蔵品の整理とか、博物館を立派にするとかの計画を、これから練っていかねばいけません。その中では、今回のような補助事業をどのように活用するかという話を含め、ご相談するような機会が出てきます。そういう場面で、またいろいろと皆様のお知恵をお借したいです。</p> <p>あと、この文化庁補助事業については、令和2年度に新規立ち上げされる事業なものですから、これから申請を行っていくため、もしかすると補助事業として採択されない場合もあるかもしれません。そうなった時は色々と検討事項も出てきますけれども、今のところは何とか乗っかって行きたいということで考えております。補助事業の内容を見ますと「博物館を確保する」と書いてありますので、私どもが考えている内容と合致する部分が結構ありますから、何とか活用していきたいと思っています。ただ、100%採択されるとものではないものですから、お含みおき下さい。</p>

池田副会長	<p>分かりました。他に意見がありませんなら、佐渡市博物館協議会の博物館ビジョン専門部会の設置について承認するというので、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、承認ということでよろしくお願いします。</p>
濱崎センター長	<p>4 その他</p> <p>(資料 令和元年度 教育行政の成果と課題について (中間評価) について説明)</p> <p>佐渡市教育委員会において作成されている本件について、目標や数値について皆様にお知りいただきたく、説明させていただきました。</p>
大屋委員	<p>博物館のスペースが少ない、という話が多く上がっておいりましたので、入館者数を増やすのはなかなか厳しいのではと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
濱崎センター長	<p>今後、施設内で出来ない展示を違う施設に持っていく「移動博物館」などができるかな、と考えております。ただ、セミナーやシンポジウムは博物館に直接的に関係した事業ではないので、それは外で実施できています。</p>
大屋委員	<p>分かりました。博物館主催、というのを強く打ち出しても面白いと思います。</p>
萩野委員	<p>今、史跡佐渡奉行所跡はどれくらいのお客様が入っていますか？</p>
五十嵐主事	<p>本年度の4月から1月末までで、合計17,267人です。</p>
萩野委員	<p>なるほど。それだけ人が来る施設ですので、相川博物館のものを持ってくるなど、施設の充実を図ってはいかがでしょうか。管理体制や、奉行所に資料を置いていかは分からないのですが、今からでもクリアできるなら、今から展示スペースを作るなりして金山関係の展示を行ってはどうですか？</p>
濱崎センター長	<p>奉行所は、例年ですと1万9千人から2万人ほどのお客様がいらっしゃいます。観光の方、修学旅行客が主な来場者です。奉行所は改修が必要な状況でして、今後、外壁や屋根、内部改修を進めなくてはならないと思っています。そのうち内部改修については、ARやVRの導入も含めた検討をしておりますが、今年や来年ではできないことかなと思います。</p>
萩野委員	<p>いいチャンスであれば活用してください。私も何回かお客様を連れて入ったりしましたが、ガイドがついて説明してくれるのですが、石川さんのお話に近いのかな、同じことの繰り返しをしながら説明しているのかなと思います。もうちょっと面白く、モノを見せることも考えながら改装してほしいですね。これだけの人が来ているので、もったいないと思います。</p>

池田副会長	作成されているパンフレット、昔から代わり映えしないので、資料にある「年間を通したテーマを設置しストーリー性を持たせる」というのをパンフレットに反映させてほしいです。東京の国立科学博物館なんかはストーリー性が非常にはっきりしています。奉行所などは、解説あたりから工夫していったらいかがでしょうか。
大屋委員	先ほどは数値目標をクリアすることを中心に話してしまいましたが、数値のクリアだけでなく、博物館に足を運ばないと体験できないことが近くで開催されたとき、親子で参加して「面白かった」「じゃあ今度は博物館に行ってみよう」と繋がると入館者増にも繋がるのかな、という思いでした。
濱崎センター長	ありがとうございます。パンフレットの話が出てきましたが、来年度の予定として、博物館・資料館が全館盛り込まれたパンフレット作成を予定しています。相川に行ったから、次は佐渡博に行ってみよう、と提供いただけるような内容で検討中です。
池田副会長	そこに全島的なストーリー性を持たせられると面白いですね。
相田委員	資料に目標値が出ていますが、平成30年度と令和2年度を比較しても、ほんの少ししか伸びていない目標になっています。目標が低いと捉えてしまうので、大きな目標を持ったほうがいいのではないのでしょうか。ジオパークで、市内学校のうち何割が出前授業を利用したか算出すると、7割を超えます。行っている内容が評価されると情報が伝わっていきます。出前授業は、理科の先生達が集まる会議、校長会、佐渡市教育研究会の理科部会など、様々な場所で情報を発信しております。博物館においても、教育できる内容などをしっかり伝えていくことで、この数値を上げられるのかな、とも思います。
池田副会長	学校等が博物館を活用することに関して、校長会等で広報されているのでしょうか？合併直後などは行っていたと思います。
濱崎センター長	年度初めの校長会にて、減免や出前事業についての全体的なご案内をしています。校外学習として来る学校も多いのである程度の効果があると思っていますが、もう少しPRはしなくてはいけないと思っています。
池田副会長	今、館長は行政職ですね。そうでない時は、館長と学校へ連れ立って直接お願いをしたりしていました。土日に子ども達を連れて、特別展を見に来たこともあります。館長さんが学校に利用をお願いして回れば効果があるのでは？と思います。目標は高く持ったほうがいいと思うので、よろしくお願いします。
加藤委員	国立科学博物館は子ども入館無料です。佐渡も思い切って入館無料にしては

	かがでしょうか？
小見委員	<p>新潟県立の美術館などは小中学生無料になっていますね。昔は学校から依頼がないと無料になりませんでした。今は個人でも無料のようです。</p> <p>私も現役の頃、ずいぶん学校に働きかけましたが、話を持ちかけるのが遅い、と言われました。授業計画が出来た後に来てもできない、と。しかも、生徒を連れて博物館・美術館に来るのは大変な仕事です。しかし、県立の場合は予算が確定するまでは次年度事業はあくまで見込みのため、学校に働きかけない。しかし、予算確定後に学校に行くのでは遅いんですね。なので、働きかけても、学校はそんなに簡単に動けないのが実情じゃないのでしょうか。</p> <p>なので、博物館学習が定例化されている場合はいいのですが、特別展に連れてくるのは簡単にいかないのではないのでしょうか。年間1日、必ず博物館に行く日を作ってもらった方がいいと思います。</p>
池田副会長	<p>学校は、3月頃には翌年度のスケジュールが確定していますね。4月からでは確かに遅い。佐渡市の場合は地理的に広いので、バスの手配も必要です。担任の先生に「やはり博物館に行くといい」と思っていただけのウリ、特徴を出すしかないですね。そうすれば博物館に優先して来てくれます。</p>
小見委員	<p>スペース上なかなか難しいと思いますが、佐渡博物館でワークショップを行うのは可能ですか？例えば、本年度の竹芸展に際し、竹のワークショップを行うなどです。それを仕切れる人が博物館内にいるのか、外から連れてこなくてはいけないのかはあるかと思いますが。</p>
大屋委員	<p>畑野小にいた頃、秀昭先生をお呼びして六角編みのワークショップを行いました。子ども達は非常に喜んでですね。6年生達が、本当に夢中になってやっていました。来年度、急と言われても難しいかと思いますが、年間3～4回など、ぜひ検討ください。</p>
池田副会長	<p>本間琢齋さんに「夏休み、佐渡の伝統的な蠟型鑄金関係でワークショップはできませんか」と聞き、「できるよ」とお返事をいただいたことがありました。電子レンジで溶かせるゲルが安く売っているものですから、それを使って実施したのですが、琢齋さんも非常に喜んでおられました。</p>
小見委員	<p>故・3代目藍堂さんと交流がありましたが、話がとても面白いんです。子ども達は、話が面白くないと駄目なんですよ。だから、文化庁長官・宮田さんが引退されたら、依頼してみてもいいのではないのでしょうか。</p>
池田副会長	5 閉会